

宇治茶世界文化遺産登録推進プラットフォーム 平成28年度行動実績

■「宇治茶の文化的景観」の情報発信

- ①宇治茶世界文化遺産登録プロモーション
 - ・宇治茶世界文化遺産ホームページ掲載コンテンツの多言語化(PF事業)……………P. 3
 - ・府庁マルシェ等での情報発信(PF事業)……………P. 5
 - ・宇治茶世界文化遺産シンポジウムの開催(PF事業)……………P. 6
- ②宇治茶の海外発信
 - ・国内の外国人に向けたPR(海外発信PF事業)……………P. 7
- ③宇治茶でおもてなし文化の再発見
 - ・宇治茶おもてなし教室の開催(PF事業)……………P. 7
 - ・「宇治茶ムリエ」の育成(府事業)……………P. 8

■文化的景観をいかした観光まちづくり

- ①宇治茶の価値を未来に伝達する知の拠点づくり
 - ・宇治茶文化講座の開催(府事業)……………P. 9
 - ・宇治茶文化講座(地域版)の開催(PF事業)……………P. 11
 - ・宇治茶文化講座(首都圏)の開催(府事業)……………P. 12
 - ・宇治茶アーカイブの構築(府事業、PF事業)……………P. 13
- ②旅を通じた地域の魅力発信づくり
 - ・写真家によるモニターツアーの実施(PF事業)……………P. 14
 - ・地域提案型の「やましろ100ちーたび」、「やましろ八十八景」(府事業)……………P. 15
- ③宇治茶の文化的景観で地域づくり
 - ・地域のみかたワークショップ(PF事業)……………P. 16
- ④茶育
 - ・山城のたから授業(PF事業)……………P. 17
 - ・宇治茶ふれあい教室(茶協事業)……………P. 19
 - ・キッズ茶ムリエの育成(府事業)……………P. 20
 - ・T-1グランプリ(茶協事業)……………P. 21

■関連事業との連携及び進捗確認

- ①宇治茶生産の維持対策
 - ・宇治茶関連基盤・施設整備支援(府事業)……………P. 22
- ②儲かる茶業に挑戦できる後継者・新規就農の仕組みづくり
 - ・宇治茶アカデミーの開講(府事業)……………P. 23
 - ・新技術・新分野創出研究会(宇治茶新技術推進会議)の設置・運営(府事業)……………P. 24
- ③特色ある宇治茶づくり
 - ・宇治茶関連研究(府事業)……………P. 24
- ④宇治茶でおもてなしをテーマとした美しい景観の村づくり
 - ・宇治茶かおり回廊の整備(府事業)……………P. 25
 - ・〈お茶の京都〉「京都やましろ茶いくるライン」の設置の整備(府事業)……………P. 25

プラットフォーム会議等の開催

25年度に策定した「日本茶のふるさと「宇治茶生産の景観」の維持・活用戦略」の実行に当たり、執行体制や情報共有を図る目的で、階層的に会議を開催

(1) チーム会議

各事業ごとの世話人により、具体的な事業内容や事業実施に当たり、必要事項を打ち合わせ

- プロモーションチーム会議: 6月15日、10月17日、1月25日
- まる旅チーム会議: 5月7日、10月25日

(2) 世話人会議の開催

全世話人により、各事業担当の世話人の事業案をとりまとめて、PF全体の事業案を作成

- 第1回: 4月14日 山城広域振興局宇治総合庁舎
各世話人の平成28年度事業案を元に、PF全体の事業案をとりまとめ。
- 第2回: 1月30日 山城広域振興局宇治総合庁舎
平成28年度事業の取組状況を共有し、意見交換。

(3) 全体会議

全メンバーにより、PF事業の世話人案を元に事業全体をとりまとめる。また、事業の進捗確認も行う。

- 第1回: 6月27日 宇治茶会館
平成28年度の世話人事業案を元に、平成28年度の事業計画となる行動計画を策定。

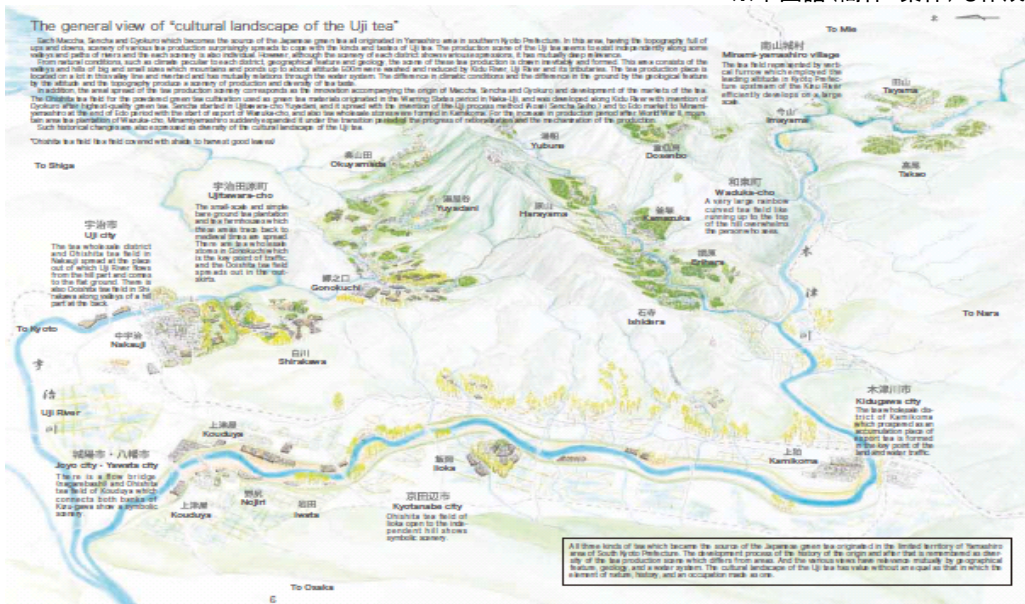
【①宇治茶世界文化遺産登録プロモーション】

宇治茶世界文化遺産ホームページ多言語化

宇治茶世界文化遺産ホームページ掲載コンテンツの多言語化(英語・中国語2種)
 ・宇治茶世界遺産に関わる情報を広く発信するホームページに掲載する提案書の
 「宇治茶の文化的景観」全覧図等の英語・中国語(2種)データを作成した

●全覧図(英語)

※中国語(簡体・繁体)も作成



●本ず茶園の解説(中国語・簡体字)

※英語・中国語(簡体)も作成

有着400年以上的传统历史的「本ず茶園」

採茶前

1 打入機具

将作为松子的酒不器打入土中。

2 茶の土作り

将土上的产茶準備完成。

3 縦向き柵

将打入土中的圆筒与支柱之间以竹固定。制作格子状篱笆。此就称为「下柵」。

4 以上产茶柵

下柵的上方，覆盖上产茶柵所制成的产茶柵。

5 以上产茶柵

上方的产茶柵上放上编好的干燥的稻秆。

採茶后

6 晒干

将稻秆半乾的稻草在产茶柵上，国内的产茶农事以这种方式进行!

7 晒干

将稻草整齐挂满。

8 摘制

茶摘制 将茶叶裁成一定的高度。

9 剪修

将茶园上所覆盖的稻秆拿下，覆盖在茶柵下方。这种的工法可以防止园内杂草生长，另外，稻秆的腐坏也会成为茶园的养分。

茶季结束八月份的茶園

3

【①宇治茶世界文化遺産登録プロモーション】

府庁マルシェ等での情報発信

- ・情報発信効果の大きい各種イベント等において、宇治茶をPRする試飲や飲み比べ、「宇治茶の文化的景観」の世界遺産登録をPRするのれんやスタンドバナー等の展示により、宇治茶ファンの拡大を図った
- ・府庁マルシェでは、呈茶により、お茶に興味がなかった人へのお茶への喚起を行うとともに、産地の飲み比べでは、産地による風味の違いを感じてもらい、改めて、「宇治茶」を意識してもらえた
- ・京のめぐるめ市は多くの来場者に恵まれ、宇治茶の世界遺産登録をPRするスタンド式のポスターやのぼりなどが会場で目立ち、来場者に取組を認識してもらう効果があった

日時	場所	マルシェ等の名称	参加者	内容
8月28日	ゼスト御池	水土里(みどり)フェスタ2016inゼスト御池 ～ 京の食を支える‘森と水土里(みどり)’ ～	約100名	玉露の試飲を実施。
9月25日	府庁旧本館	府庁マルシェ(1回目)	約100名	氷出し玉露の試飲を実施
10月29日	京都テルサ	KYOのあけぼのフェスティバル	約20名	宇治茶男子による和菓子とお茶の淹れ方教室
2月25日	イオンモール京都五条・ハナ	京のめぐるめ市(京都ちびずマルシェ)	約300名	お茶の代理販売及び試飲
3月5日	府庁旧本館	府庁マルシェ(2回目)	約80名	産地の飲み比べ、試飲、茶こら(チョコレート)の販売)



(府庁マルシェ・産地の飲み比べ)



(府庁マルシェ・試飲・茶こら(チョコ)販売)



(京のめぐるめ市)

【①宇治茶世界文化遺産登録プロモーション】

宇治茶世界文化遺産シンポジウムの開催

- ・長い時間をかけてお茶の文化を発展させ、世界へも大きな影響を与えてきた世界一のお茶産地であるアジアから見る「宇治茶の文化的景観」の魅力や課題を共有し、その価値を次世代に継承する取組を考え、宇治茶の世界文化遺産登録に向けた気運を醸成するため、シンポジウムを開催
- ・昨年度に引き続き、京都市内での開催となったことで京都市をはじめ、山城地域外からの参加者も多く見られ、気運の醸成や取組の理解の促進をより広く行うことができた
- ・日本イコモス国内委員会理事である稲葉信子氏の講演や、トークセッションを通して、文化的景観という概念への理解が深まった、日本茶、お茶の文化も含めてアジア全体の広い視野で考える必要があると感じたとの声が聞かれた

●日時:平成29年2月19日(日)13:30~16:00

●場所:京都府立京都学・歴彩館 大ホール

●参加人数:約170人

●内容

・講演

「世界遺産と文化的景観 その事例・考え方」(稲葉信子氏)

・トークセッション「アジアから見る宇治茶の文化的景観」

コーディネーター:宗田好史氏

パネリスト:稲葉信子氏、上杉和央氏、清水重敦氏、森正美氏

・総括コメント(金田章裕氏)



稲葉信子氏講演



トークセッション

【②宇治茶の海外発信】

国内の外国人に向けたPR

- ・「情報多言語MAP」、「指さし会話帳」の活用のための広報活動
- ・関西空港、京都タワーにJTB西日本と京阪グループが開設した関西ツーリストインフォメーションセンター京都等での多言語MAPのPR
- ・関西国際空港で外国人観光客に宇治茶をふるまい、多言語情報マップを配付し、インバウンド向けに宇治茶のPRを行うとともに、お茶の京都をPR

- 日時:平成29年2月14(火)～16日(木)
- 場所:関西国際空港 第1ターミナルビル1階ロビー
- 参加人数:10,000名
- 対象者:一般旅客者・外国人(インバウンド)
- 内容:宇治茶のふるまい、多言語情報マップの配付により、インバウンド向けに宇治茶のPRを行うとともに、お茶の京都をPR

(関西国際空港におけるPR(宇治茶のふるまい))



【③宇治茶おもてなし文化の再発見】

宇治茶おもてなし教室の開催

- ・府庁マルシェ等で宇治茶をPRする試飲や飲み比べを実施。
(① 宇治茶世界文化遺産登録プロモーション・府庁マルシェ等での情報発信 参照)

【③宇治茶おもてなし文化の再発見】

「宇治茶ムリエ」の育成

・京都府山城地域を中心とした企業・団体や大学生、行政職員が、宇治茶でおもてなしするための必要な作法や、宇治茶の歴史などの基礎知識を習得し、職場や家庭で急須でお茶を淹れる文化を広げるため、

- ①美味しい宇治茶の淹れ方実習、
 - ②宇治茶の歴史及び京都府内茶生産状況について講座
 - ③その他宇治茶に関する知識について講座
- を実施

・キッズ茶ムリエ等を含めた「宇治茶ムリエ」養成人数は、27年度及び28年度計で2,175名となり、2,000人を超過

【実施実績】

- 一般府民等を対象に実施(実施回数:8回、参加者小計:222名)
- 企業・団体・大学等を対象に実施(実施回数:21回、参加者小計:455名)
- 府職員等を対象に実施(実施回数:6回、参加者小計:123名)

(講座実施の様子)



【①宇治茶の価値を未来へ伝承する知の拠点づくり】

宇治茶文化講座の開催

- ・宇治茶の文化的価値を再認識できる文化講座を開催(6回)
- ・講座内容は、座学と体験からなり、宇治茶の多様性にふれる機会とし、茶商や茶の生産者、歴史学者による講座と、宇治茶や宇治の文化を学びその魅力を発信する京都文教大学地域連携学生プロジェクト「宇治☆茶レンジャー」のサポートによる「美味しい宇治茶の淹れ方体験」を実施
- ・参加者数は延べ335名と定員を上回る方に参加いただいた。
- ・6講座及び2月19日開催の「宇治茶世界文化遺産シンポジウム」を含めた計7講座中、5講座以上出席した31名の方へ京都府から修了証を交付
 昨年の45名から大幅に増加した



橋本素子先生の講義



お茶淹れ体験



谷口郁男氏の講義



茶香服体験

【①宇治茶の価値を未来へ伝承する知の拠点づくり】

宇治茶文化講座の開催

	日時	内容	講師	受講者
第1回	平成28年10月12日	宇治茶の世界史 ～伝承と史実の間～	橋本素子氏 京都文教大学地域協働研究教育センター 客員研究員	58名
第2回	平成28年11月16日	宇治茶の香りの不思議	原口健司氏 京都府茶業研究所 専門幹	56名
第3回	平成28年12月10日	「嘉木歴覧」と永谷家文書 ～文書調査と全翻刻作業から ～	島津良子氏 京都文教大学地域協働研究教育センター 客員研究員	60名
第4回	平成28年12月10日	宇治茶を海外に伝える ～宇治茶の普及活動より～	林屋和男氏 宇治茶伝道師	64名
第5回	平成29年1月11日	宇治茶観光in宇治田原	谷口郁男氏 お茶のふるさと塾 塾長	46名
第6回	平成29年2月8日	生産景観を生かしたまちづくり in 和束町	藤井孝夫氏 京都学園大学教授 松石三重子氏 日本茶インストラクター協会京都府支部長	51名

【①宇治茶の価値を未来へ伝承する知の拠点づくり】

宇治茶文化講座(地域版)の開催

・古文書調査からわかった「青製煎茶と宇治田原地域」を共有し、宇治田原の魅力を再発見し、その再発見した魅力をいかす取組を考えることで、「宇治茶の文化的景観」を地域で「守り」「活用する」気運を高めるため開催

・講座で学び、それを企画立案するワークショップというバランスが難しい中、「知っているつもりでも知らない事ばかり。湯屋谷に住む者としてもっともっと勉強しなければと思った。」「宗円生家で年1度でもよいから茶香服大会をしたらと思う。お茶を売るのも煎茶だけでなく色々なお茶をだしてみたら。」という意見もあるなど、今後、自分たちで考えていかないという雰囲気が高まった講座となった

●日時:平成28年9月22日(祝)10:00~12:00

●場所:宇治田原町総合文化センター 研修室1 ●参加人数:30人

●対象者

宇治田原いいとこ案内人の会、湯屋谷宗円さんの里づくり会

●内容

(1)学ぶ

・話題提供:青製煎茶と宇治田原地域

・提供者:島津良子氏(京都文教大学・奈良女子大学・立命館大学非常勤講師)

中川博勝氏(精華町教育委員会非常勤嘱託職員)

(2)高める

・テーマ:学んだことを案内にいかしてみよう

・ファシリテーター:森正美氏(京都文教大学教授)



【①宇治茶の価値を未来へ伝承する知の拠点づくり】

宇治茶文化講座(首都圏)

- ・首都圏で講演とお茶の淹れ方体験ができる文化講座を開催
- ・アンケートの結果、講座の内容について「非常によかった」、「よかった」が全体の99%を占め、「宇治茶は高級なものというイメージはあるが、東京ではあまり、飲む機会も話を聞くチャンスも少ないが、今回の講座で知識と技術と両方勉強できて良かった。」というご意見をいただく等、首都圏に向けて宇治茶の魅力を発信することができた

【開催日】平成28年9月9日から11日

【場 所】東京国立博物館・応奉館

【参加者】3種類の講座を延べ7回行い、延べ300名が受講



●A講座:宇治茶の歴史ー伝統と革新ー
講師:橋本素子
(宇治茶文化的景観等調査研究会議員)



●B講座:宇治茶の文化ー茶商の技術と宇治茶の魅力についてー
講師:小山茂樹(宇治茶伝道師)



●C講座:宇治茶の生産ーつくり手の思いー
講師:古川嘉嗣(宇治茶伝道師)



●お茶の淹れ方体験の様子

【①宇治茶の価値を未来へ伝承する知の拠点づくり】

宇治茶アーカイブの構築

宇治茶の世界遺産登録に向けて、提案コンセプトにおける歴史的事実の更なる掘り下げと地域の気運の盛り上げに資するため、近世の山城地域における煎茶生産、流通に係る古文書調査を行った

●「堀家文書」の翻刻により、てん茶の栽培に関する歴史を調査

【内 容】

- ・「宇治堀家文書」巻三の翻刻、分析
- ・文書目録の作成

<成 果>

- ・覆下栽培に藁が必要であることから、堀家が小作人と田地を小作契約する際に、稲藁を現物収させる契約を交わしていたことが明らかとなった。また、山地の売買の目的として、覆下栽培のための丸太や竹の調達だけでなく、製茶の際に必要な薪や炭等の燃料の調達のためである可能性があることが分かった。
- ・覆下栽培は本来、宇治郷だけで許可されていたものと解釈されているが、寛永8年(1631年)には白川においても覆下栽培が行われていた。これにより、宇治茶師が所有する宇治郷以外の地域の茶園でも覆下栽培が行われ、白川は宇治茶師の茶業を側面から支える役割を担っていたことが明らかとなった。

●「古今嘉木歴覧」の翻刻により、煎茶の生産・流通に関する歴史を調査

【内 容】

- ・全文解読、校注、現代語訳

<成 果>

- ・永谷三之丞家所蔵の「古今嘉木歴覧」は、元文4年(1738年)に宇治田原町の永谷宗圓が緑茶製法を発明し、その製法を周辺地域に拡大普及させたという現在の通説の根拠とされる資料であるが、旧宇治田原町史が一部の解読文を作成したのみで、その全容は不明な史料であった。今回、「古今嘉木歴覧」の全解読文と現代語訳とともに詳細な校注を行ったことで「古今嘉木歴覧」の全容が明らかとなり、製法発明直後から、江戸における緑茶販売が順調に拡大したとは言えないような記述を含んでいることが判明した。

写真家によるモニターツアーの実施

- ・写真家の水野秀比古氏に参加いただき、写真による情報発信を通して地域の魅力を発信するとともに、新たな旅が生まれるきっかけづくりとするため、写真家等を通じたモニターツアーを実施
- ・アンケートの結果、両日ともに、ほとんどの参加者が「大変満足した」と回答。また、参加者の約半数の方が和東町や宇治田原町、南山城村に来られた事がなく、「このような機会がないと来れない！」と言う意見を頂いた

●一般向けツアー

【日 時】平成29年2月26日(日)

【場 所】和東町(石寺・撰原の景観)、宇治田原町(永谷宗円の生家)

【参加者】20名

【内 容】和東町(石寺・撰原)、宇治田原町(湯屋谷)における茶畑景観の撮影及び水野秀比古氏の講義

●女子向けツアー

【日 時】平成29年3月26日(日)

【場 所】和東町(石寺・撰原の景観)、南山城村(道の駅・ゆるり)

【参加者】16名

【内 容】和東町(石寺・撰原)における茶畑景観の撮影、南山城村道の駅の見学及び水野秀比古氏の講義



(写真撮影の様子)



(水野秀比古氏講義)

【②旅を通じた地域の魅力発信づくり】

地域提案型の「やましろ100ちーたび」

自ら行きたくなるような山城地域の歴史や文化をテーマにした小さな旅企画を提案し、実際に旅をし、SNS等による発信を実施(45件の提案があった)

●「やましろちーたび」もちより相談会

- ・ 6月11日(宇治)【参加者:13名】
- ・ 7月 9日(田辺)【参加者:11名】
- ・ 8月13日(木津)【参加者: 7名】
- ・ 9月10日(向日)【参加者: 5名】
- ・10月 8日(宇治)【参加者: 6名】

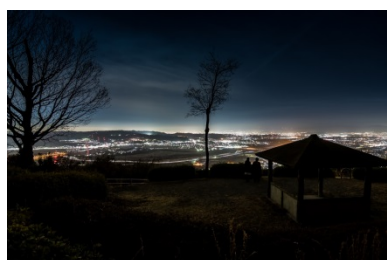
●主なお茶関係のツアー

旅の名前	市町村名	実施日	参加状況
里山の歴史と抹茶を愉しむ	井手町	10月22日	31
「宇治茶」茶工場を体験しよう	宇治市	9月23日	19
茶畑・碾茶工場見学ツアー	和束町	11月13日	30
日本緑茶発祥の地でおもてなし&散策ツアー	宇治田原町	12月3日	7
「宇治茶」茶工場を体験しよう!	宇治市	10月22日	20

「やましろ八十八選」、「やましろの食・土産」、「やましろの催事」の発信

- ・山城ならではの美しい景色や感動する景色などを公募し、「やましろ八十八選」として選定、発信した(総投稿数237枚)
- ・新規性、オリジナリティ、ユニーク性、アピール性を考慮し、65枚を選定した。そのうち特に優れた3枚を優秀作品とした

【優秀作品】



夜景遺産(井手町)



夕景流れ橋(八幡市)



レイアウト～茶畑と紅葉～(和束町) 15

【③宇治茶の文化的景観で地域づくり】

地域のみかたワークショップ(概要)

- ・文化的景観という観点で地域らしさを発見し、地域づくりにつなげるため、宇治茶の文化的景観の候補地である南山城村田山でワークショップを実施
- ・地域らしさを取りまとめたポスターやPRビデオを見た地域の方から、「改めて見ると綺麗だなと思う」、「地域の方のつながりが貴重であることに気づいた」という意見が出され、客観的に地域資源の評価を行うことができた
- ・地域住民の中にも、担い手不足に対する危機感があったが、報告会の意見交換で、「どのようにしたら景観を維持できるのか」「担い手はどのようにしたら増えるのか」など、一歩踏み込んだ意見が出され、地域住民の意識の啓発に、一定の効果があった

<ワークショップ(1回目)>

【日 時】平成28年11月19日(土)

【場 所】南山城村農村婦人の家

【参加者】学生:21名 田山地域の方:8名

【内 容】京都府立大学と京都大学の学生がグループに別れ、地域の方から茶業を中心とした生業、思い出の風景、行事、地域の宝などについて聞き取り、地域らしさの概要の聞き取りを実施

<ワークショップ(2回目)>

【日 時】平成28年12月11日(日)

【場 所】田山地域の方の自宅・茶畑等

【参加者】学生:21名 田山地域の方:7名

- ・2回のワークショップを通じて、学生らにより、南山城村田山地区の地域らしさを取りまとめ、ポスター制作を行った。
- ・聞き書きにより抽出されたキーワードをもとに、南山城村田山地区のPRビデオを作成した。

<報告会(3回目)>

【日 時】平成29年3月8日(水)

【場 所】南山城村農村婦人の家

【参加者】学生:7名 田山地域の方:14名(村長含む)

【内 容】2回のワークショップで発見した地域らしさについて報告会を行った後、意見交換を行い田山地域の良さや課題を地域の方と共有



(ワークショップ(1回目))



(ワークショップ(2回目))



(報告会(3回目))

【④茶育】

山城のたから授業の実施

- ・子どもたちに「山城」を住む地域としてとらえ、誇れる「たから」がたくさんあることを知り、中でも世界的に貴重な宇治茶の伝統と価値がわかり、急須でお茶を淹れる手軽さと楽しささえも感じられる授業を小学校で実施
- ・山城管内の小学校78校の内、4分の1以上の延べ21校で実施でき、1,300名以上の児童に宇治茶の価値を伝え、急須でのお茶淹れを体験してもらうことができた。
- ・アンケートの結果(授業は楽しかった:99%、家で授業のことを話す:87%、宇治茶の価値が分かった:97%)
- ・授業参観としても4校で実施でき、一定数の保護者にも体験してもらえた

【授業の様子】



【④茶育】

山城のたから授業の実施

【実施校一覧】

	日時	学校	市町村	学年	参加者
1	6月15日	菟道第二小学校	宇治市	5年生	90名
2	6月29日	南山城小学校	南山城村	6年生	21名
3	7月15日	平盛小学校	宇治市	6年生	31名
4	9月15日	笠取小学校	宇治市	3・4年生	9名
5	10月14日	北禰島小学校	宇治市	4年生	64名
6	10月27日	寺田西小学校	城陽市	3年生	48名
7	11月25日	木幡小学校	宇治市	4年生	106名
8	11月30日	南部小学校	宇治市	4年生	62名
9	12月 8日	東角小学校	久御山町	4年生	48名
10	12月13日	伊勢田小学校	宇治市	4年生	83名
11	12月19日	小倉小学校	宇治市	4年生	90名
12	1月13日	兎道小学校	宇治市	4年生	53名
13	1月17日	西大久保小学校	宇治市	6年生	40名
14	1月20日	南小倉小学校	宇治市	6年生	46名
15	1月21日	宇治田原小学校	宇治田原町	4年生	37名
16	1月28日	上狛小学校	木津川市	6年生	29名
17	2月13日	大開小学校	宇治市	4年生	83名
18	2月15日	三室戸小学校	宇治市	4年生	75名
19	2月21日	伊勢田小学校	宇治市	3年生	80名
20	2月22日	西小倉小学校	宇治市	4年生	61名
21	2月23日	宇治黄檗学園	宇治市	4年生	131名
22	3月 8日	大開小学校	宇治市	4年生	83名
合計					1,370名

【アンケート結果】

	はい		いいえ		わからない	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
授業は楽しかった	1,171	99.5%	6	0.5%	0	0%
たからの話はわかりやすかった	1,142	97.0	35	30%	0	0%
家で授業のことを話す	1,023	86.9	154	13.1%	0	0%
急須でのお茶淹れは簡単だった	1,000	85.0%	177	15.0%	0	0%
宇治茶の価値がわかった	1,142	97.0%	34	2.9%	1	0.1%
家でよく急須で淹れたお茶を飲む	231	19.6%	946	80.4%	0	0%
日本遺産に選ばれてうれしい	1,114	94.6%	63	5.4%	0	0%

宇治茶ふれあい教室の開催

・保育園、小学校、支援学校等の児童生徒に宇治茶のことを楽しく学んでもらい、宇治茶文化の理解促進を図るため、次の内容を組み合わせて開催した。

①茶香服 ②お茶の飲み比べ ③お茶の淹れ方 ④ビデオ鑑賞 ⑤宇治茶・茶種・効能⑥仕上げ加工実演 ⑦石臼体験 ⑧茶摘み ⑨ホットプレート製茶

・延べ41校で実施し、2, 276名が参加した

＜「宇治茶ふれあい教室の体験」の先生の声＞

実際にお茶を飲んだり、淹れたりと自分で体験することで感じるものが多い楽しかった。きっと子供たちもこうやって体験することは教材に向かう上で、より興味を持って向かえるのだろうなということを実感できた。また、さまざまなお茶を味わうことで深みを知ることもできた

	日 時	開催名	会場	参加人数	内容
1	4月23日(土)	京都市文芸短期大学	京都市文芸短期大学	132	①③(抹茶)④⑤⑦
2	5月10日(火)	ひいらぎ保育園	京都府茶協同組合	44	②⑥⑦⑧
3	5月10日(火)	宇治市教育支援課	京都府茶協同組合	10	⑧
4	5月11日(水)	菟道第二小学校	京都府茶協同組合	84	④⑤⑦⑧
5	5月12日(木)	かおり幼稚園	京都府茶協同組合	82	②⑧
6	5月13日(金)	大開小学校	京都府茶協同組合	72	②④⑤⑦⑧
7	5月13日(金)	神明幼稚園	京都府茶協同組合	20	⑧
8	5月30日(月)	ヴィラ城陽	京都府茶協同組合	15	①⑤⑦
9	5月31日(火)	宇治支援学校高等部	京都府茶協同組合	14	②③(煎茶)⑤⑧
10	6月6日(月)	京都外国語大学	京都外国語大学	8	①③(抹茶)⑤⑥⑦
11	6月7日(火)	岡屋小学校	岡屋小学校	65	①⑤⑥⑦
12	6月17日(金)	八幡支援学校(小・中・高等部)	八幡支援学校	43	①③⑤
13	6月20日(月)	八幡支援学校(小・中・高等部)	八幡支援学校	29	①③⑤
14	6月27日(月)	宇治支援学校中学部	宇治支援学校	10	③(抹茶)⑤⑥⑦
15	6月28日(火)	宇治支援学校PTA	宇治支援学校	17	①⑤⑥⑦
16	7月4日(月)	宇治支援学校小学部	宇治支援学校	10	③(抹茶)
17	7月6日(水)	京都市文芸大学	京都市文芸大学	13	③(玉露・煎茶)⑤⑥⑦
18	9月9日(金)	南京都病院(しらうめ病棟)	南京都病院	45	③⑤⑦
19	9月12日(月)	八幡支援学校(小・中・高等部)	八幡支援学校	26	①③⑤
20	9月15日(木)	西乙訓高等学校	西乙訓高等学校	37	①③(玉露・抹茶)⑤
21	10月13日(木)	北小倉小学校	北小倉小学校	51	①⑤⑥⑦
22	10月26日(水)	御蔵山小学校	御蔵山小学校	166	⑤⑥⑦
23	11月1日(火)	寺田西小学校	寺田西小学校	48	①⑤
24	11月2日(水)	神明小学校	神明小学校	110	①⑤⑥⑦
25	11月15日(火)	木幡小学校	木幡小学校	143	①
26	11月22日(火)	南宇治中学校	南宇治中学校	37	③(玉露)⑤
27	11月29日(火)	菟道第二小学校	菟道第二小学校	84	①⑤⑥⑦
28	11月30日(水)	小倉小学校	小倉小学校	127	①⑤⑥⑦
29	12月13日(火)	宇治市生涯学習センター	宇治市生涯学習センター	30	①⑤⑥⑦
30	12月15日(木)	御蔵山小学校	御蔵山小学校	166	①
31	12月18日(日)	T-1グランプリ	宇治茶会館	60	
32	1月13日(金)	淳風小学校	淳風小学校	18	①⑤⑥⑦
33	1月17日(火)	菟道第二小学校	菟道第二小学校	84	③(抹茶)
34	1月18日(水)	上狛小学校	上狛小学校	29	①⑤⑥⑦
35	1月19日(木)	鳥羽高校	鳥羽高校	126	③(抹茶・玉露)⑤
36	1月25日(水)	宇治支援学校	宇治支援学校	11	②
37	1月26日(木)	菟道小学校	菟道小学校	50	①⑤⑥⑦
38	1月31日(火)	東角小学校	東角小学校	17	③(抹茶)
39	2月2日(木)	榎島小学校	榎島小学校	108	①⑤⑥⑦
40	3月13日(月)	京都銀行伏見支店	京都銀行伏見支店	15	③⑤(煎茶)
41	3月18日(土)	関西大学	関西大学梅田キャンパス	20	③⑤(玉露)
				2, 276	

キッズ茶ムリエの育成

- ・将来の宇治茶ファンを育成するため、小学3～6年生を対象に、キッズ「茶ムリエ」検定として、ペーパーテスト、茶香服、お茶の淹れ方教室等を実施した
- ・八幡市、京田辺市、木津川市、宇治市、城陽市の5会場で合計、321名が参加し、189名が認定された
- ・定員を大きく上回る応募があり、多くの子どもたちが宇治茶を好きになったとアンケートに答えた
- ・保護者向けに実施したお茶淹れ講座にも多くの参加があり、普段急須に縁のない保護者にも急須でお茶を淹れる文化に触れる良い機会になった

会場	実施日	参加者数	認定者数	認定割合
八幡市	10月10日	59名	35名	59%
京田辺市	10月16日	73名	45名	62%
木津川市	11月23日	71名	40名	56%
宇治市	11月27日	72名	39名	54%
城陽市	2月 5日	46名	30名	65%
合計		321名	189名	59%



(木津川市)



(八幡市)

T-1グランプリの開催

- ・小学3～6年生を対象に、①筆記クイズによるお茶の知識の習得 ②お茶の種類当て競技 ③お茶の淹れ方競技等に挑戦。「小学校チャンピオン」を決定し、将来を担う子供達に宇治茶への関心と親しみを涵養することを狙いに開催

●日時

平成28年12月18日(日)

参加人数:52人

(京都市、八幡市、宇治市、京田辺市、
城陽市、木津川市、精華町)

会場:宇治茶会館



茶レンジ①お茶〇×クイズ30問



茶レンジ②お茶の種類当てクイズ8問



茶レンジ③お茶の淹れ方競技



決勝戦

【①宇治茶生産の維持対策】

宇治茶関連基盤・施設整備支援

改植、被覆棚施設設置、機械導入支援などを実施

①優良茶園振興事業

事業名	市町村名	事業実施主体	事業内容	受益面積 (ha)
茶業振興対策事業 (優良茶園振興事業)	城陽市	城陽市茶生産組合	改植 (手摘み)	0.38
			新植 (はさみ摘み)	0.30
	宇治田原町	JA京都やましろ 宇治田原町茶業部会	新・改植	2.15

②茶園環境改善事業

事業名	市町村名	事業実施主体	事業内容	受益面積 (ha)
茶業振興対策事業 (茶園環境改善事業)	城陽市・八幡市	JA京都やましろ	棚施設整備	1.59 (内 手摘み 0.43)
	京田辺市	京田辺市茶業部会	棚施設整備 (手摘み)	0.40
	八幡市	都々城茶生産組合	棚施設更新 (手摘み)	0.85

③宇治茶生産景観承継支援事業

事業名	市町村名	事業実施主体	事業内容	受益面積 (ha)
宇治茶生産景観継承支援事業	和束町 南山城村	JA京都やましろ	棚施設整備	1.15
	宇治田原町	JA京都やましろ 宇治田原町茶業部会	新・改植	0.99

④共同製茶等省力化推進事業

事業名	市町村名	事業実施主体	事業内容
宇治茶振興対策事業 (共同製茶等省力化推進事業)	和束町	原山中井組合	製茶機械一式 乗用摘採機2台

【②儲かる茶業に挑戦できる後継者・新規就農の仕組みづくり】

宇治茶アカデミーの開講

- ・茶業経営者を対象に、より高度な経営実践のために、宇治茶アカデミーを全4回開催。延べ50名が受講し、27名が修了（※①概ね5割（2回）以上出席した者に修了証書授与）
- ・受講生からは、他業種の方々との意見効果は大変参考になった、異業種やコンサルタントの講師の外からの視点の講演はアイデアにつながった抹茶の官能検査は非常に魅力的であったとの意見があった

	開催日	講演内容	講師	受講者数
第1回	平成28年12月5日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本酒の基礎と味の表現具体例 ・宇治茶の味を伝える 	天橋立 酒鮮の宿 まるや 古田 豊弘 氏 京都府農産課 堤 保三 氏	33名
第2回	平成28年12月22日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・お茶の官能検査 ～宇治茶における評価のポイントとは～ 	京都府農林水産技術センター 農林センター茶業研究所 村上 宏亮 氏	39名
第3回	平成29年1月24日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・海外における日本茶の普及活動・可能性とハードル ・日本茶業の今後の方向について 	日本茶輸出促進協議会 ブレケル・オスカル 氏 (公社)静岡県茶業会議所 月間「茶」編集長 中小路 和義 氏	25名
第4回	平成29年2月23日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・カリスマバイヤーに聞く“売れる商品づくり” 	(株)オフィス内田 代表取締役 内田 勝規 氏	21名



第2回 抹茶の官能検査



第3回 グループワークの様子

【②儲かる茶業に挑戦できる後継者・新規就農の仕組みづくり】

新技術・新分野創出研究会の運営

- ・平成28年2月に宇治茶新技術推進会議が発足
- ・茶業研究所と茶業団体との連携体制を強め、今後、強化する企業・大学との共同研究による商品開発等を効果的に進めていくことを、全体で共有
- ・茶業研究所に対して、新品種育成、輸出対策、ヴィンテージ茶等の新しい茶の開発、新製品開発など、多岐にわたる期待が寄せられ、研究課題に反映

○平成28年度に取り組んだ主な研究テーマ

目標	共同研究者	課題名
①スマート茶業の実現	NPO,茶業団体他	・ICTを活用した茶園環境センシングによる栽培管理適期予測モデル(病害虫防除、秋整枝時期等)の開発
	府内電気機器メーカー	・新芽の化学成分を数値化・見える化し、熟練者の持つ高品質茶生産技術を若手に継承・修得
②新生産・加工システムの開発	農業資材メーカー	・覆い下茶の覆い香味が向上する新たな化学繊維被覆資材及び栽培法の開発
	製茶機械メーカー	・省力、省エネ、自動化可能な新てん茶乾燥機の実用機開発
③新商品の開発	府内食品メーカー	・覆い下茶の熟成香味が際立つ茶の生産技術と新商品化 ・長期熟成香味の科学的評価、長期保存技術の確立

【③特色ある宇治茶づくり】

宇治茶関連研究

- ・茶業研究所研究報告会を開催し、2課題の成果を発表

●茶業研究所研究報告会

- ・目的:輸出を目指した病害虫防除、京都府育成品種の色沢(色合い)に関する研究報告を行い、高品質茶生産に役立てる
- ・日時:平成29年2月10日
- ・場所:宇治茶会館
- ・参加者:約250名
- ・発表内容
 - ①安心安全な茶生産のための病害虫防除
～宇治茶の輸出をめざして～
 - ②被覆及び製造条件が「展茗」の色沢に与える影響



【④宇治茶でおもてなしをテーマとした美しい景観の村づくり】

宇治茶かおり回廊の整備

日本遺産の構成文化財や戦略交流拠点等を効率的に巡り、回遊性を強化するため、市町村・地域と連携して「案内板」(19基)及び「解説板」(12基)を設置



日本遺産解説版

〈お茶の京都〉「京都やましろ茶いくるライン」の設置及び整備

「サイクリストの聖地やましろ」を目指し、「茶いくるライン」を活用したサイクリングイベントを開催

【事業内容】

「ツアー・オブ・茶いくるライン in 京都やましろ」平成28年11月6日(日)開催

・けいはんなプラザ日時計広場を発着点とした2コースで実施

「お茶を知るコース」(初級者向け) 54km

「お茶を学ぶコース」(中級者向け) 64km

・9歳から73歳まで 最終189人がゴール

・おもてなし

宇治茶をつかったスイーツ等のふるまい(玉露プリン、玉露茶、抹茶パウンドケーキ等)